



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
7/14 (月)	+ 800	▲ 13,600	▲ 12,800	国庫短期証券発行償還 (3M)	国債補充供給 社債等買入 1600 -300	国債買入 + 10,600	日：鉱工業生産 (5月)
7/15 (火)	+ 1,000	▲ 2,000	▲ 1,000	国債発行償還 (個人)			米：CPI (6月) 欧：ユーロ圏鉱工業生産 (5月)
7/16 (水)	トン	▲ 4,000	▲ 4,000	国債発行 (GX5年)			日：日銀金融政策決定会合議事録 (2015年1月-6月開催分) 米：ページブック ：鉱工業生産 (6月)
7/17 (木)	トン	+ 5,000	+ 5,000				日：貿易収支 (6月) 欧：ユーロ圏CPI (6月)
7/18 (金)	▲ 1,000	▲ 7,000	▲ 8,000	流動性供給	気候変動 ▲ 72,400		日：全国CPI (6月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比3,700億円増加の522兆3,100億円から始まった。その後、国債発行や源泉揚げ等の要因により増減し、11日は519兆600億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.477%から始まり、その後も横ばい圏で推移した。

ターム物は1W~3W物0.460%~0.610%のレンジ、1M~3M物0.560%~0.700%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、16日に日銀金融政策決定会合議事録 (2015年1月-6月開催分) の公表、18日に全国CPIの発表が行われる。海外では15日に米CPI、17日にユーロ圏CPIの発表などが予定されている。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.450 ~ 0.478
1M	0.53 ~ 0.65
2M	0.54 ~ 0.70
3M	0.58 ~ 0.70
6M	0.65 ~ 0.85

<レボ>

足許GC取引+0.49%近辺で出合が見られた。輪番オペがオファーされた11日も水準に変化は見られなかった。

SC取引は2年470~473回債、5年155~178回債、10年355~370、378、379回債、20年110~130などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40%台
CP 3M	0.55 ~ 0.60

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆5,580億円で、週間償還額の1兆3,590億円を上回った。発行残高は先週末時点の24兆6,979億円から、7月10日時点で25兆2,888億円に増加した。発行市場は、不動産、小売業、卸売業、鉄鋼、建設業で大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは、先週に引き続き、a-1格相当の1か月物では政策金利に近い0.50%台前半での出合い、3か月物では0.50%台後半から0.60%近辺での出合いが見られた。

来週の償還額は1兆6,800億円となっている。発行市場は、需給に大きな変動なく、大きな発行要因もないことから、償還額と同程度の落ちついたマーケットが見込まれる。発行レートについては、今週に引き続き、1か月物では0.50%台前半での出合い、3か月物に関しては0.50%台後半から0.60%近辺と、横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

9日の6M (1317回債) の入札は、最高落札利回り0.4421% (前回債0.5058%)、平均落札利回り0.4283% (前回債0.4938%) となった。
11日の3M (1318回債) の入札は、最高落札利回り0.4150% (前回債0.4356%)、平均落札利回り0.4054% (前回債0.4264%) となった。
来週の入札は17日に1Y、18日に3Mが予定されている。